

教材・支援機器活用実践事例【ICT】

教科の見方・考え方を整理するための ICT 活用 「資料をもとにした意見交換・共有」

子どもについて	所属・学年	特別支援学校・高等部3年
	障がい名等	知的障がい
	子どもの実態 (学習上又は生活上の困難さ等)	・主に高等部1段階を学習している。実態差はあるが、学習に意欲的で積極的に発言する生徒が多い。資料から読み取ったことを書いてまとめることには学習の積み重ねが必要である。
授業について (教材・教具を使用した授業や指導場面)	教科名等	社会
	単元(題材)名	単元名「くらしを支える工業生産」
	単元(題材)の概要	・写真を基に工業の盛んな地域が海や高速道路の近くに広がっている理由について、班ごとに話し合い、全体で共有することで理解を深める。
教材・教具支援機器について	教材・教具 支援機器	<p>タブレット端末、TVモニター</p> 
	ねらい・工夫点	<p>〈ねらい〉</p> <p>○話し合った内容を文で表現し共有することで、多様な意見を出し合ったり視野を広げたりすることができる。</p> <p>〈工夫点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班ごとの話し合った内容をホワイトボードアプリで入力できるようにした。 ・話し合った内容をモニターで共有できるようにした。 ・共有した内容から、良い気付き等に線を引き、さらに思考を深められるようにした。
	材料・作成方法等	タブレット端末、アプリ (Jamboard)
子どもの変容や評価		<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの入力した内容がモニターで共有されることで、意欲的に話し合い、意見を考える姿が見られた。 ・他のグループの考えも取り入れて、学んだ内容をワークシートに記入する様子が見られた。